

集合研修の実施

1) 参加要項

環境省主催
平成 29 年度自然資源を活かす
エコツーリズム・インタープリテーションの
人材育成支援事業
《集合研修参加要項》

※当研修会は、(公社)日本環境教育フォーラム(JEEF)とNPO法人日本エコツーリズム協会(JES)が、環境省より受託し実施します。

日程： 2018年1月15日(月)～17日(水)

【内容】

1. 研修会スケジュール
 2. 研修会場へのアクセス・受付時間
 3. 宿泊について
 4. 保険について
 5. 持ち物
 6. 連絡先
- 送迎・交流会申込書

1. 研修会スケジュール

※カリキュラム・時間については若干変更の可能性があります。

※都合により講師が変更になる場合もあります。ご了承ください。

研修1日目 (AB共通)

開始時刻	内容	この講義のねらいや意味など	講師等
12:00	受付		
13:00	開会		
13:03	主催者挨拶		環境省
13:10	研修全体のオリエンテーション 研修のねらいの確認/3日間の流れ/会場の使い方について		
13:15	講師・スタッフの紹介		
13:20	アイスブレイク	会場の固い空気を和らげる時間。おそらく60名ほど(あるいは70名)となるので、『旗揚げアンケート』等で属性や参加動機などを俯瞰する簡単なアイスブレイクをする。	
13:35	1-1講義「日本の自然環境の価値とブランディングについて」	世界に対する日本の自然の価値付けや果たせる役割、そのストーリーなどを総論し、日本におけるガイドやインタープリターが果たす役割や、カリキュラム全体を俯瞰して、その学ぶ意味合いを確認する。	環境省
14:25	1-2講義「地域挙げての観光振興のきっかけづくり」	エコツーリズムを活用した観光振興の有効性。地域を挙げての観光振興への指針。	山田桂一郎
15:45	1-3講義「自然保護・モニタリングについて」	自然保護とモニタリングについて。エコツーリズムが自然保護にどのような役割を果たすか、果たすべきか。	横山隆一
16:50	1-4講義「インタープリテーションの様々なスタイル(含むノンパーソナルインタープリテーション)/インタープリテーション計画」	施設内でのオリエンテーション/様々なプレゼンテーション手法/参加型の工夫/展示・セルフガイド・路傍展示などの紹介をする。インタープリテーション計画の概要紹介もおこなう。	西村仁志/ 古瀬浩史
17:30	1-5講義「エコツーリズム概論/エコツーリズムの経済学」	導入、エコツーリズムを活用した事例、日本型エコツーリズムについて、現在の世界の潮流。エコツーリズムによる観光振興、地域振興、マクロの視点での経済波及効果について、世界の事例を踏まえて	海津ゆりえ/ 真板昭夫
18:25	今日一日のふりかえり ふりかえり用紙への記入(質問も)→少人数で共有	今日一日の研修をふりかえり、学んだこと、分かりにくかったこと、今後やってみたいことなどを言語化する(個人)→チーム内(あるいはチームを超えたグループ内)で共有する。	
18:45	事務連絡		
18:50	お部屋にチェックイン		
19:05	夕食&懇親会		

研修2日目 (Aコース)

開始時刻	内容	この講義のねらいや意味など	講師等
8:30	那須平成の森へ移動		
9:00	今日の流れの確認/会場の使い方 の説明など		
9:10	2A-1 講義「インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介」	インタープリテーションの様々な道具や手法を紹介。インバウンド対応のための道具についても触れる。	長谷川幸子、古瀬浩史
9:50	2A-2 見学&参加者の道具の紹介	講師が用意した道具の他に、参加者にも普段自分が使っているインタープリテーション(ガイド)の道具を持参していただきシェアする。	長谷川幸子、古瀬浩史
10:45	2A-3 講義「インタープリテーションのプログラム・デザイン手法」	参加者を迎えて「こんにちは」から「ありがとうございました」までの間をどのようにデザインするかを学ぶ。プログラム・デザインとは「時間設計・空間設計・関係性設計」のこと。	川嶋直
11:25	2A-4 ワークショップ「自らのプログラムを再デザインする」	講義を受けて自らのプログラムを書き直してみる(個人作業)→グループでシェアする。	川嶋直
12:05	昼食		
13:15	2A-5 講義「インタープリテーション計画」	インタープリテーション計画の概要とその重要性を理解し、各地域で計画を作る際のポイントを伝え、次の時間のワークショップに繋げる。	古瀬浩史
13:45	2A-6 講義「那須平成の森のIP計画の紹介と実際のIP(パーソナル&ノンパーソナル)の紹介」	インタープリテーション計画が実際の現場にどのように反映されているのかを紹介する。	那須平成の森 古瀬浩史
14:25	2A-7 ワークショップ「IP計画を書いてみる」	各チームでインタープリテーション計画のイメージを書く→チーム間で共有する。	古瀬浩史
15:40	2A-8 講義「人材育成の設計手法」	インタープリター(ガイド)が育つための様々な可能性を紹介/同時に集合研修の設計手法も紹介する。	川嶋直
16:10	2A-9 ワークショップ「自分の地域の人材育成計画を考えてみる」	各地域で具体的にどのような人材育成に向けた行動計画を描けるかをチーム毎に考える→全体で共有→講師からコメント。	川嶋直、古瀬浩史、山崎宏
17:05	2A-10 ワークショップ「地域でのパートナーシップ・連携を考える」	地域で連携できる関係者(団体)を書き出して、具体的にどのような連携の可能性があるのか考えてみる(個人作業→チーム共有→全体共有)等。	川嶋直、山崎宏
17:55	今日一日のふりかえり ふりかえり用紙への記入(質問も)→少人数で共有	今日一日の研修をふりかえり、学んだこと、分かりにくかったこと、今後やってみたいことなどを言語化する(個人)→チーム内(あるいはチームを超えたグループ内)で共有する。	長谷川幸子
18:25	事務連絡		
18:35	オオシマフォーラムへ移動		
19:05	夕食		

研修2日目 (Bコース)

開始時刻	内容	この講義のねらいや意味など	講師等
8:30	集合 今日の流れの確認/会場説明など		事務局
8:40	アイスブレイク	参加者の自己紹介、課題の共有など	松田光輝
9:00	2B-1講義「地域におけるエコツアーガイドの役割」	エコツアーガイドが地域で果たすべき役割、可能性 (地域の顔、モニタリングへの寄与、コーディネーター的視点)	松本毅
9:50	2B-2講義「地域内の協力体制づくりにおける地域コーディネーターの役割」	行政、漁協、民間事業者などの関係者を巻き込んだ観光振興の取組み 方法論、地域内の合意形成について	江崎貴久
10:45	2B-3ワークショップ：各地域の仕組み・体制づくりの課題解決に向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師
11:45	昼食		
12:45	2B-4講義「マーケティング・販売戦略について」	マーケティング・販売戦略について概論するとともに、訪日外国人観光客誘客の視点からの戦略(情報分析、事業への戦略だて)について理解する。	府川尚弘
13:35	2B-5講義「事業経営と関係者とのパートナーシップの構築」	事業運営に係る収益確保の仕方、商品単価の設定、経営戦略、旅行会社とのビジネスパートナーシップ、契約形態、ツアー催行に当たっての実際的な考え方、動き方を理解する。	松田光輝
14:25	2B-6ワークショップ：各地域の商品化・事業化の課題解決に向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師
15:35	2B-7講義「ガイド手法とプログラムづくり」	エコツアーガイドとしての解説手法、プログラムづくりの考え方を理解する。	安類智仁
16:25	2B-8講義「リスクマネジメント」	事業運営に必要なリスクマネジメントの考え方について理解する。	松田光輝
17:15	2B-9ワークショップ：各地域のより良いプログラムづくりに向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師
18:25	今日一日のふりかえり	各地の先進事例共有や課題と取組の抽出、意見交換	全講師
18:55	事務連絡		事務局
19:00	夕食		

研修 3 日目 (AB共通)

開始時刻	内容	この講義のねらいや意味など	講師等
8:30	本日の流れの確認／ふりかえり で出た質問に答える		該当講師
8:45	3-1講義「インバウンド対応」	現場で外国人に相対するガイドのノウハウ、ツアー催行の実際	古屋絢子
9:05	3-2講義「海外から見た日本の自然の市場性」	訪日外国人観光客の地域や客層、動向などを踏まえ、世界の旅行市場における「日本の自然資源」の訴求力と、特徴・優位性について指摘する。	楠部真也
10:10	3-3講義「ユニバーサル対応」	バリアフリー、ユニバーサル対応に対する、意識付け、きっかけ、気づき、さらに集客層拡大のポテンシャルについてお話頂く。	佐藤由香利
11:00	行動計画のブラッシュアップ& 個別相談会①	各チームが集合研修終了後の行動計画をブラッシュアップする。同時に講師が個別相談テーブルを用意しチーム毎に個別相談に行く。	全講師
12:00	昼食休憩		
13:00	行動計画のブラッシュアップ& 個別相談会②	各チームが集合研修終了後の行動計画をブラッシュアップする。同時に講師が個別相談テーブルを用意しチーム毎に個別相談に行く。	全講師
14:10	研修全体のふりかえり（アンケート記入も） ふりかえり用紙への記入（質問も）一少人数で共有		
14:35	今後の事務連絡		
14:45	閉会式		

2. 研修会場へのアクセス・受付時間

会場：オオシマフォーラム

【住所】〒325-0301 栃木県那須町 205-207 【電話】0287-76-1700

アクセス

【公共交通機関でお越しの場合】

新幹線：東北新幹線・那須塩原駅下車 在来線：JR黒磯駅下車

那須塩原駅から会場へは研修会専用の貸し切り送迎バスを運行します

送迎ご希望の方は1月9日(火)までに「研修会参加申込書」にて事務局へご連絡ください。

送迎バス利用の方

行き

1/15(月) 11:30 那須塩原駅西口ロータリー集合

(参考：東京方面からは10:12東京駅発→11:21那須塩原駅着 やまびこ207号が便利です)

帰り

1/17(水) 研修会終了後に那須塩原駅まで送迎いたします。

(参考：東京方面へは16:48那須塩原駅発→東京駅17:56着 なすの292号が便利です)

路線バス：那須塩原駅または黒磯駅より、東野交通バス「山水閣入口(つつじヶ丘)」下車
徒歩約3分 東野交通：0286-62-1080

【車でお越しの場合】 無料駐車場有



公式HPアクセス情報：<http://www.ohshima-forum.jp/access/index.html>

受付時間 ※この時間内に必ずオオシマフォーラムまで、お越しください。

1月15日(月) 12:00-13:00

3. 宿泊について

研修期間中は、原則として全員全日、研修施設にて宿泊、食事となります。

2泊3日、計6食付 お一人様あたり 23,100円（消費税・入湯税込）

※相部屋でのご用意となります。

※食事は1日目：夕、2日目：朝昼夕、3日目：朝昼（計6食）

※1日目（全体）2日目（コース別）夕食時に、交流会の開催を予定しています（飲み放題付）

※交流会へのお持ち込みは自由です。地域の自慢の品々やお飲み物をぜひご持参ください

4. 保険について

集合研修期間中、傷害保険に加入していただきます。

保険料：お一人様あたり 321円（3日間で）

※上記「宿泊費」「保険料」は当日受付にてチームごとに現金精算させていただきます。

（例：3名参加の場合 69,300円（23,100円×3名）+963円（321円×3名）=70,263円）

5. 持ち物

- 筆記用具
- 保険証
- 各自、宿泊に必要なもの
- 交通・宿泊等に必要な現金
- ペットボトルや水筒などの飲みもの（必要に応じて）
- 現金
- 防寒着、雨具等
- その他（地域のパンフレット・観光案内等）

※事前に会場に送付可能です。着日を前日1/14に指定の上、品名を「環境省研修会持ち込み資料」と明記の上、上記会場オオシマフォーラム宛にお送りください。

6. 連絡先

宿泊・交流会に関するお問合せ

NPO 法人日本エコツーリズム協会（J E S）担当：坪根

〈電話〉 03-5437-3080 〈FAX〉 03-5437-3081

〈メール〉 tsubone@ecotourism.gr.jp

研修会当日の緊急連絡先

090-9142-0228（J E S事務局携帯）※研修会当日のみご利用ください。

研修会参加申込書

	氏名	バス送迎 行き (1/15)	バス送迎 帰り (1/17)
参加者①		希望する・しない	希望する・しない
参加者②		希望する・しない	希望する・しない
参加者③		希望する・しない	希望する・しない
お申込締切日	平成 30 年 1 月 9 日 (火) 17 : 00		

お申込 お問合せ先	NPO法人日本エコツーリズム協会 担当：坪根 申込先〈メール〉 tsubone@ecotourism.gr.jp 問合せ先〈電 話〉 03-5437-3080 〈F A X〉 03-5437-3081
--------------	--

2) 事前学習教材一覧

研修1日目

自己研修教材一覧

研修1日目 (AB共通)	講義名	担当	教材として、下記の環境省サイトをご覧ください	読み物 (環境省ウェブサイト)	URL
講義「日本の自然環境の価値とブランディングについて」	環境省		<p>1. エコツーリズムについて (Web) 環境省HP『エコツーリズムのススメ』内の下記ページをご一読ください。 ○「エコツーリズムとは」 ○同上ページ「エコツーリズム関連パンフレット」に掲載されている2つのパンフレット 「地球のためにできること。エコツーリズム推進ガイド」「さあ、はじめよう、エコツーリズム」</p> <p>2. 日本の国立公園について (Web) 環境省HP『日本の国立公園』内の下記ページをご一読ください。 ○目的と役割 ・美しい自然は日本の宝 ・日本の国立公園の特徴 ・風景の保護と生物多様性 ・自然とのふれあい</p> <p>○歴史と制度 ・国立公園80年の歴史 ・日本の国立公園制度 ・国立公園の定義 ・公園計画 ・公園計画の図</p> <p>○保護と利用 ・時代の変化とともに ・自然の保護と利用の管理</p> <p>3. 国立公園満喫プロジェクトについて</p>	<p>読み物 (環境省ウェブサイト)</p> <p>読み物 (環境省ウェブサイト)</p> <p>読み物 (環境省ウェブサイト)</p> <p>読み物 (環境省ウェブサイト)</p> <p>読み物</p>	<p>https://www.env.go.jp/nature/ecotourism/try-ecotourism/about/index.html</p> <p>http://www.env.go.jp/park/about/</p> <p>http://www.env.go.jp/park/about/history.html</p> <p>https://www.env.go.jp/park/about/protect/index.html</p> <p>データを添付しました。</p>
講義「地域挙げての観光振興のきっかけづくり(仮)」	山田 桂一郎	担当	<p>テキスト教材</p> <p>*下記の書籍を事前にお読みください 必読 ◎「観光立国の正体」 新潮社 藻谷浩介・山田桂一郎 努力課題 ◎「知られざる日本の地域力」 今井出版 椎川忍・山田桂一郎・藻谷浩介・・・ ◎「しなやかな日本列島をつくりかた」 新潮社 藻谷浩介対話集 ◎「デフレの正体」角川ONEテーマ21 藻谷浩介</p>	読み物 (書籍)	なし
講義「エコツーリズム概論/エコツーリズムの経済学」	海津ゆりえ/ 眞板昭夫	担当	日本エコツーリズム協会報 第67号	読み物 (書籍)	データを添付しました。
講義「インターネットブリーディングの様々なスタイル(含むノンパブリックインターネットブリーディング) / インターブリーディング計画」	西村に志/古瀬浩史	担当	1日目AB共通・インターネットブリーディングの様々なスタイル(西村)	動画教材	https://youtu.be/D4X8r7F2rdM

研修2日目 (Aコース)			
講義名	担当	テキスト教材	動画教材 URL
講義「インターネットアプリケーションの様々な道具や手法の紹介」	長谷川幸子、古瀬浩史	2日目A・インターネットアプリケーションの様々な道具や手法 (古瀬)	https://youtu.be/yeKHQRnOmTg
講義「インターネットアプリケーションのプログラム・デザイン手法」	川嶋直	2日目A・インターネットアプリケーションの概要 (川嶋)	https://youtu.be/KhgisIcr1Ik
ワークショップ「自らのプログラムを再デザインする」	川嶋直		https://youtu.be/TZ899xzUzbM
講義「インターネットアプリケーション計画」	古瀬浩史	2日目A・インターネットアプリケーション計画とは (古瀬) 2日目A・ガイド・プログラムの計画 (古瀬)	https://youtu.be/aWK4YwXUGQ
講義「人材育成の設計手法」	川嶋直	2日目A・人材育成の設計手法/地域でのパートナシップ・連携 (川嶋)	https://youtu.be/FBbDFe4RnoY
ワークショップ「地域でのパートナシップ・連携を考える」	川嶋直、山崎 宏	2日目A・人材育成の設計手法/地域でのパートナシップ・連携 (川嶋)	https://youtu.be/svyYgXSo8oQ
研修3日目 (AB共通)			
講義名	担当	テキスト教材	動画教材 URL
講義「インバウンド対応」	古屋絢子	3日目AB共通・インバウンド対応 (古屋)	なし
自己研修のみ (AB共通)			
科目名	担当	教材として、下記の環境省サイトをご覧ください	URL
「日本の自然環境の価値と意味」	田中伸彦	パワーポイントレジュメを配付	https://www.youtube.com/watch?v=wVc2PzgPifM&t=0s&list=PLKk6FgPxAEqUvUaRORSCHPha1aovs2vI&index=15
「関連法規からみたリスクマネジメント」	三浦雅生	* 本教材には、現場で活かせるとても重要な内容が書かれています。ポリウムがあるため集合研修時までにすべてをご覧になれない場合は、研修終了後も含めて、ぜひご一読ください。	読み物

カリキュラムに含まれないが「研修全体の準備」に役立つ教材

カリキュラムに含まれないが「研修全体の準備」の意味で、下記の動画も事前にご覧ください

「伝える」ということ	川嶋直	関連教材AB共通・伝え方・話し方について（川嶋）	動画教材	https://www.youtube.com/watch?v=LStod7E_cGg
「話し方」「伝え方」について	川嶋直	関連教材AB共通・伝え方・話し方について（川嶋）	動画教材	https://youtu.be/8wv-Gg7zhdHE
話し方の様々な工夫	川嶋直	関連教材AB共通・伝え方・話し方について（川嶋）	動画教材	https://youtu.be/QTk4VxEvrao
エコツーリズムの定義	辻野啓一	エコツーリズムへの導入	動画教材	https://youtu.be/Ujld50Rk0F4
エコツーリズムがもつニューツーリズムとしての	辻野啓一	エコツーリズムへの導入	動画教材	https://youtu.be/9MrfeeXIFoo
エコツーリズムへの取り組み方	辻野啓一	エコツーリズムへの導入	動画教材	https://youtu.be/Fzt06JKI1wo
インバウンドとエコツーリズム	辻野啓一	エコツーリズムへの導入	動画教材	https://youtu.be/bZtc04rL6bE

本研修の動画は、下記のYouTube再生リストにまとめて掲載しています。

<https://goo.gl/D7VQCA>

3) 集合研修カリキュラム

研修1日目 (AB共通@オオシマフォーラム)

行 番 号	開始 時刻	所要 時間	内容	この講義のねらいや意味など	担当	進行	会場
1	12:30	0:30	受付			JEEF & JES	オオシマフォーラム
2	13:00	0:03	開会			JEEF	オオシマフォーラム大会議室
3	13:03	0:03	主催者挨拶		環境省	JEEF	〃
4	13:06	0:04	那須町から挨拶		那須町長	JEEF	〃
5	13:10	0:05	研修全体のオリエンテーション 研修のねらいの確認/3日間の流れ/会場の使い方について			川嶋直	〃
6	13:15	0:05	講師・スタッフの紹介			川嶋直	〃
7	13:20	0:15	アイスブレイク	会場の固い空気を和らげる時間。おそらく60名ほど(あるいは70名)となるので、『旗揚げアンケート』等で属性や参加動機などを俯瞰する簡単なアイスブレイクをする。		川嶋直	
8	13:35	0:30	1-1講義「日本の自然環境の価値とブランディングについて」	世界に対する日本の自然の価値付けや果たせる役割、そのストーリーなどを総論し、日本におけるガイドやインタープリターが果たす役割や、カリキュラム全体を俯瞰して、その学ぶ意味合いを確認する。	環境省	川嶋直	〃
9	14:05	0:10	PKT&QA			川嶋直	〃
10	14:15	0:10	休憩				
11	14:25	0:45	1-2講義「地域挙げての観光振興のきっかけづくり」	エコツーリズムを活用した観光振興の有効性。地域を挙げての観光振興への指針。	山田 桂一郎	川嶋直	〃
15	15:10	0:15	PKT&QA	時間短縮のために上記2講義をまとめてPKT&QAをおこなう		川嶋直	〃
16	15:25	0:20	休憩 (ポスターセッション見学会を含める)				
17	15:45	0:45	1-3「自然保護・モニタリングについて」	自然保護とモニタリングについて。エコツーリズムが自然保護にどういう役割を果たすか、果たすべきか。	横山 隆一	川嶋直	
18	16:30	0:10	PKT&QA	上記のふりかえり等		川嶋直	
19	16:40	0:10	休憩				
20	16:50	0:30	1-4講義「インタープリテーションの様々なスタイル (含むノンパーソナルインタープリテーション) / インタープリテーション計画」	施設内でのオリエンテーション/様々なプレゼンテーション手法/参加型の工夫/展示・セルフガイド・路傍展示などの紹介をする。インタープリテーション計画の概要紹介もおこなう。	西村仁志/古瀬浩史	川嶋直	〃
21	17:20	0:10	PKT&QA	上記のふりかえり等		川嶋直	
14	17:30	0:45	1-5講義「エコツーリズム概論/エコツーリズムの経済学」	導入、エコツーリズムを活用した事例、日本型エコツーリズムについて、現在の世界の潮流。エコツーリズムによる観光振興、地域振興、マクロの視点での経済波及効果について、世界の事例を踏まえて。	海津ゆりえ/眞板昭夫	川嶋直	
22	18:15	0:10	休憩				
23	18:25	0:20	今日一日のふりかえり ふりかえり用紙への記入 (質問も) → 少人数で共有	今日一日の研修をふりかえり、学んだこと、分かって良かったこと、今後やってみようことなどを言語化する (個人) → チーム内 (あるいはチームを超えたグループ内) で共有する。			
24	18:45	0:05	事務連絡			川嶋直	〃
25	18:50	0:15	お部屋にチェックイン				
26	19:05	2:00	夕食&懇親会 (含む参加者自己紹介: チームごとに)			JEEF	オオシマフォーラム食堂
27	21:05	0:45	終了/スタッフミーティング (ふりかえりを読んで翌日の修正など確認)			川嶋直	
28	21:50						

研修2日目 (Aコース@那須平成の森フィールドセンター→那須高原ビジターセンター)

行 番 号	開始 時刻	所要 時間	内容	この講義のねらいや意味など	担当	進行	会場
27	8:30	0:30	那須平成の森へ移動				
28	9:00	0:10	今日の流れの確認/会場の使い方の説明など			長谷川幸子	那須平成の森 フィールドセン ター/レクチャー ルーム
29	9:10	0:40	2A-1講義「インタープリテーションの様々な道具や手法の紹介」	インタープリテーションの様々な道具や手法を紹介。インバウンド対応のための道具についても触れる。	長谷川幸子、古 瀬浩史	長谷川幸子	〃
30	9:50	0:40	2A-2見学&参加者の道具の紹介	講師が用意した道具の他に、参加者にも普段自分が使っているインタープリ テーション(ガイド)の道具を持参していただきシェアする。	長谷川幸子、古 瀬浩史	長谷川幸子	〃
31	10:30	0:15	休憩				
32	10:45	0:40	2A-3講義「インタープリテーションのプログラム・デザイン手法」 (行番号33を含めてこの80分は、チーム内の行政担当者だけ(10名)別プログラムにする可能性あり。)	参加者を迎えて「こんにちは」から「ありがとうございました」までの間をどのようにデザインするかを学ぶ。プログラム・デザインとは「時間設計・空間設計・関係性設計」のこと。	川嶋直	長谷川幸子	〃
33	11:25	0:40	2A-4ワークショップ「自らのプログラムを再デザインする」	講義を受けて自らのプログラムを書き直してみる(個人作業)→グループでシェアする。	川嶋直	長谷川幸子	〃
34	12:05	0:45	昼食休憩(この時間も自由見学)				
35	12:50	0:20	那須高原ビジターセンターへ移動				
36	13:10	0:05	会場の使い方の説明など			長谷川幸子	那須高原ビジター センター
37	13:15	0:30	2A-5講義「インタープリテーション計画」	インタープリテーション計画の概要とその重要性を理解し、各地域で計画を作る際のポイントを伝え、次の時間のワークショップに繋げる。	古瀬浩史	長谷川幸子	〃
38	13:45	0:30	2A-6講義「那須平成の森のIP計画の紹介と実際のIP(パーソナル&ノンパーソナル)の紹介」	インタープリテーション計画が実際の現場にどのように反映されているのかを紹介する。	那須平成の森 古瀬浩史	長谷川幸子	〃
39	14:15	0:10	休憩				
40	14:25	1:00	2A-7ワークショップ「IP計画を書いてみる」	各チームでインタープリテーション計画のイメージを書く→チーム間で共有する。	古瀬浩史	長谷川幸子	〃
41	15:25	0:15	休憩				
42	15:40	0:30	2A-8講義「人材育成の設計手法」	インタープリター(ガイド)が育つための様々な可能性を紹介/同時に集合研修の設計手法も紹介する。	川嶋直	長谷川幸子	〃
43	16:10	0:45	2A-9ワークショップ「自分の地域の人材育成計画を考えてみる」	各地域で具体的にどのような人材育成に向けた行動計画を描けるかをチーム毎に考える→全体で共有→講師からコメント。	川嶋直、古瀬浩 史、山崎宏	長谷川幸子	〃
44	16:55	0:10	休憩				
45	17:05	0:50	2A-10ワークショップ「地域でのパートナーシップ・連携を考える」	地域で連携できる関係者(団体)を書き出して、具体的にどのような連携の可能性があるのか考えてみる(個人作業→チーム共有→全体共有)等。	川嶋直、山崎宏	長谷川幸子	〃
46	17:55	0:30	今日一日のふりかえり ふりかえり用紙への記入(質問も)→少人数で共有	今日一日の研修をふりかえり、学んだこと、分りにくかったこと、今後やってみたいことなどを言語化する(個人)→チーム内(あるいはチームを超えたグループ内)で共有する。	長谷川幸子	長谷川幸子	〃
47	18:25	0:10	事務連絡			JEEF	〃
48	18:35	0:15	オオシマフォーラムへ移動				
49	18:50	0:15	休憩				
50	19:05	1:00	夕食				オオシマフォー ラム食堂
51	20:05	0:45	終了/スタッフミーティング(ふりかえりを読んで翌日の修正など確認)			川嶋直	
52	20:50						

研修2日目 (Bコース@オオシマフォーラム)

行 番 号	開 始 時 刻	所 要 時 間	内 容	この講義のねらいや意味など	担 当	進 行	会 場
54	8:30	0:10	集合 今日の流れの確認/会場説明など		事務局		オオシマフォー ム
55	8:40	0:20	アイスブレイク	参加者の自己紹介、課題の共有など	松田 光輝		
56	9:00	0:45	2B-1講義「地域におけるエコツアーガイドの役割」	エコツアーガイドが地域で果たすべき役割、可能性 (地域の顔、モニタリングへの寄与、コーディネーター的視点)	松本 毅		
57	9:45	0:05	休憩				
58	9:50	0:45	2B-2講義「地域内の協力体制づくりにおける地域コ ーディネーターの役割」	行政、漁協、民間事業者などの関係者を巻き込んだ観光振興の取組み 方法論、地域内の合意形成について	江崎 貴久		
59	10:35	0:10	休憩				
60	10:45	1:00	2B-3ワークショップ：各地域の仕組み・体制づくりの課 題解決に向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、 各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師		
61	11:45	1:00	昼食休憩				
62	12:45	0:45	2B-4講義「マーケティング・販売戦略について」	マーケティング・販売戦略について概論するとともに、訪日外国人観光客誘客 の視点からの戦略（情報分析、事業への戦略だて）について理解する。	府川 尚弘		
63	13:30	0:05	休憩				
64	13:35	0:45	2B-5講義「事業経営と関係者とのパートナーシップの構 築」	事業運営に係る収益確保の仕方、商品単価の設定、経営戦略、旅行会社とのビ ジネスパートナーシップ、契約形態、ツアー催行に当たっての実際的な考え 方、動き方を理解する。	松田 光輝		
65	14:20	0:05	休憩				
66	14:25	1:00	2B-6ワークショップ：各地域の商品化・事業化の課題解 決に向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、 各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師		
67	15:25	0:10	休憩				
68	15:35	0:45	2B-7講義「ガイド手法とプログラムづくり」	エコツアーガイドとしての解説手法、プログラムづくりの考え方を理解する。	安類 智仁		
69	16:20	0:05	休憩				
70	16:25	0:45	2B-8講義「リスクマネジメント」	事業運営に必要なリスクマネジメントの考え方について理解する。	松田 光輝		
71	17:10	0:05	休憩				
72	17:15	1:00	2B-9ワークショップ：各地域のより良いプログラムづく りに向けて	上記2講義に関するふりかえりを行いながら、 各地域からの課題共有とその解決に向けたディスカッション	Bコース全講師		
73	18:15	0:10	休憩				
74	18:25	0:30	今日一日のふりかえり	各地の先進事例共有や課題と取組の抽出、意見交換	全講師		
75	18:55	0:05	事務連絡		事務局		
76	19:00	1:00	夕食				
77	20:00	0:45	終了/スタッフミーティング（ふりかえりを読んで翌日 の修正など確認）				
78	20:45						

研修3日目 AB共通@オオシマフォーラム

行 番 号	開 始 時 刻	所 要 時 間	内 容	この講義のねらいや意味など	担 当	進 行	会 場
79	8:30	0:15	本日の流れの確認／ふりかえりで出た質問に答える	全体に答えたほうが良い質問への回答はこのタイミングで行う	該当講師	川嶋直	オオシマフォーラ
80	8:45	0:20	3-1講義「インバウンド対応」	現場で外国人に相対するガイドのノウハウ、ツアー催行の実際	古屋絢子	川嶋直	〃
81	9:05	0:45	3-2講義「海外から見た日本の自然の市場性」	訪日外国人観光客の地域や客層、動向などを踏まえ、世界の旅行市場における「日本の自然資源」の訴求力と、特徴・優位性について指摘する。	楠部真也	川嶋直	〃
82	9:50	0:10	PKT&QA			川嶋直	
83	10:00	0:10	休憩				
84	10:10	0:30	3-3講義「ユニバーサル対応」	バリアフリー、ユニバーサル対応に対する、意識付け、きっかけ、気づき、さらに集客層拡大のポテンシャルについてお話頂く。	佐藤由香利	川嶋直	〃
85	10:40	0:10	PKT&QA				
86	10:50	0:10	休憩				
87	11:00	1:00	行動計画のブラッシュアップ&個別相談会①	各チームが集合研修終了後の行動計画をブラッシュアップする。同時に講師が個別相談テーブルを用意しチーム毎に個別相談に行く。	全講師	川嶋直	
88	12:00	1:00	昼食休憩				
89	13:00	1:10	行動計画のブラッシュアップ&個別相談会②	各チームが集合研修終了後の行動計画をブラッシュアップする。同時に講師が個別相談テーブルを用意しチーム毎に個別相談に行く。	全講師	川嶋直	
90	14:10	0:25	研修全体のふりかえり（アンケート記入も） ふりかえり用紙への記入（質問も）一少人数で共有			川嶋直	
91	14:35	0:10	今後の事務連絡			JEEF	〃
92	14:45	0:15	閉会式			JEEF	〃
93	15:00	2:00	解散/スタッフミーティング（ふりかえりを読んで今後の作業確認）				オオシマフォーラ ムの??
94	17:00						

1) 集合研修参加チームの一覧

A コース

地域等	参加人数	応募者の所属等		
		①	②	③
白神山地（秋田県藤里町）	3	市町村	拠点施設	商工会
宮城県石巻市及び南三陸町	3	拠点施設	観光協会	キャンプ場
山梨県北都留郡小菅村	2	NPO	NPO	
岐阜県大野郡白川村	2	拠点施設	拠点施設	
長野県松川町	2	市町村	市町村	
長野県塩尻市	2	旅館業・農業	市町村	
広島県安芸太田町 三段峡	2	観光協会	NPO	
福岡県みやこ町「こもりくの森」	2	市町村	地域住民	
宮崎県 えびの高原	2	拠点施設	宿泊施設	
鹿児島県鹿児島市・桜島地域	3	拠点施設	ガイド	ガイド
沖縄県座間味村	3	観光協会	自然保護官事務所	市町村

* 山形県鶴岡市については、当日急遽欠席となった。

B コース

地域等	参加人数	応募者の所属等		
		①	②	③
山形県大江町	3	拠点施設	指定管理者	市町村
新潟県妙高市	2	市町村	ガイド	
山梨県南アルプス市芦安地域	2	市町村	市町村	
富山県南砺市	2	ガイド	漫画作家	
立山エコツーリズム研究会	2	観光会社	観光会社	ガイド
鳥取県日南町	3	市町村	市民	NPO
愛媛県石鎚周辺地域	2	市町村	観光会社	
香川県高松市	3	市町村	観光会社	実行委員会
香川県	3	観光協会	NPO	ガイド
阿蘇くじゅう国立公園（熊本県）	2	県	拠点施設	
阿蘇くじゅう国立公園（大分県）	3	大分県自然保護推進室	ガイド	NPO
薩摩川内市 国定公園甕島	3	観光協会	遊漁船業	旅行会社

2) 集合研修の実施状況

1 日目の様子 (A・Bコース共通)

環境省担当官から研修の趣旨説明があり、環境省の取組などが紹介されて、2泊3日の集合研修がスタート。

続いて同環境省担当官より「日本の自然環境の価値とブランディングについて」の最初の講義の時間。

研修の初日は、Aコース、Bコースそれぞれの参加者にとって基礎的な知識として重要なことについての講義が行われた。



講義の様子 (山田桂一郎氏：地域挙げての観光振興のきっかけづくり)



集合研修のメイン会場は、グループワークでの使い勝手を優先して、6人を1グループとするアイランド形式とし、講師も1名ずつ各グループに入って研修生のサポートを行いながらの講義やワークショップとなった。

会場の隅には、各参加チームが持ち寄った地域を紹介するパンフレットコーナーや、講師の著作の販売コーナーを設置した。





午前は「那須平成の森フィールドセンター」に移動し、屋外でのウォーミングアップの後、インタープリテーションの様々な手法の紹介、プログラムデザインについての講義・ワークショップを実施(下)。講師や参加者が小道具を持ち寄っての情報交換会も行われた(左上)。また、行政担当者を対象に、各地域の課題などを共有する情報交換会も行った。(左下)



午後は「那須高原ビジターセンター」で、インタープリテーション(IP)計画についての講義をもとに、現場でインタープリテーション計画がどのように活かされているかを、高尾山や那須平成の森の事例を交えながら学ぶワークショップとなった。KP法で講義を進める川嶋講師(左)、IP計画を解説する



2日目の様子（Bコース）

講義の様子（江崎貴久氏：地域内の協力体制づくりにおける地域コーディネートの役割）



ワークショップの様子（松田光輝氏・安類智仁氏：各地域のより良いプログラム作りに向けて）



3日目の様子

3日目の前半は、今後のエコツーリズムの展開において重要な課題となっているインバウンド対応（古屋講師・左）やユニバーサル対応（佐藤講師・右）についての講義が行われた。



集合研修の締めくくりは「行動計画の作成」。川嶋講師から計画の作り方を学びながら、地域に帰ってから実践する行動計画を、研修で学んだことを活かしながら参加チームごとに作る時間となった。



策定した行動計画について、講師に相談してブラッシュアップしたり、様々な課題についてアドバイスを受ける個別相談会を行った。



研修1日目の夜は、参加地域からいろいろなお国自慢を持ち寄っての交流会。
この時間は、講師と参加者、また参加者同士で、様々な情報が交換される貴重なひとときとなった。



研修の最後は、みんなで記念撮影！ 地域に帰ってからの実践が本番で、帰ってからも頑張りましょうと互いにエールを交わしながら帰途につきました。

